

# 2年制高等技術専門学院の 整備状況とその特徴

札幌高等技術専門学院 職業能力開発研究室

## 1. はじめに

産業構造の転換や技術革新の進展の中で、少子・高齢化による労働力人口の減少や高学歴化の進展など、いわゆる若者の「技能離れ」が懸念されており、職業能力開発行政が転機にあるといわれて、久しいものがあります。

道立高等技術専門学院（以下「学院」という）においても、入学者がピーク時の昭和47年に3,450余名を記録しましたが、現在では学院の再編整備や定員の見直し等もあり約1,300名の入学者となっています。

現在、各学院では地域産業の動向に配慮しながら、時代のニーズに対応した職業能力開発を実施するなど、さまざまな対応策を講じてきています。

今、業界では技術革新や産業構造の変化に対応できる技能・技術者養成の必要性が強く求められています。

道としては、各学院における職業能力開発の実施体制の見直しを行い、地域の産業構造の動向、入学状況、施設の状況等を勘案しながら、技術的技能者養成の中心施設とする「拠点校」、拠点校の補完施設として位置づける「地方校」、そして地域主導による人材開発型施設への転換を図る「地域人材開発センター」の3つのタイプに校を分類し、再編整備を進めてきました。

拠点校に位置づけられている学院は、訓練期間を2年間とし、教科内容の高度化、複合化を図ってい

ます。

本稿では、最近の整備状況として、拠点校である北見学院、旭川学院、函館学院を紹介します。

## 2. 拠点校の整備状況

平成6年度に北見学院、平成8年度に旭川学院、平成10年度函館学院が竣工し、全科2年制訓練科目の学院として訓練を開始し、平成12年度帯広学院が訓練開始予定となっています。

施設の特徴としては、すべての学院で講堂（200余名程度収容）を備えて、ゆとりある空間を確保したつくりになっています。また、全科共用のコンピュータ室も整備されています。

## 3. 各学院紹介

### 3.1 北見高等技術専門学院

#### (1) 学院の特徴

北見学院は、オホーツク圏の内陸部に位置する人口11万人の北見市南西部の閑静な住宅地にあり、広大な敷地に恵まれた緑豊かな環境に立地しています。

平成6年度からは、道立高等技術専門学院の再編整備計画に基づき、全科高卒2年制の5科目に再編され、産業界の求めるテクニシャンの養成、離転職者や在職者等の能力開発を展開しています。

地域産業に対しては、特に、北見地域職業訓練センターとの連携を密にするとともに、5科目に関連する事業主との交流を促進し、企業ニーズの把握や



北見学院全景



講堂

学生の就職促進，さらには，拠点学院として業界との協力体制づくりを進めるため，業界懇談会を実施しています。

また，学生の技術・技能のレベルの向上には，資格取得や各種検定（技能五輪含む）への参加など，積極的な取り組みを行っています。

学院のPRの一環としては，高校生を対象に年2回体験入学月間を設ける等，広く門戸を開き，地域への浸透を図っています。

## (2) 設置訓練科目

・電気工学科：定員20名

（電力系電気工事科）

電気機器や生産の自動化，さらにはこれらのメンテナンス技術，電気設備の設計施工，保守点検など電気技術の高度複合化に対応した技術者の育成。

・建築デザイン科：定員20名

（建築施工系建築設計科）

建物の空間的デザイン，生活機能の知識をもとに企画，設計およびコンピュータ支援設計システムの運用技術を学ぶことにより，快適な住環境を考えた夢のある建築設計の基礎的な技術を身につけた建築設計技術者の育成。

・自動車整備科：定員20名

（第2種自動車系自動車整備科）

自動車整備に必要な知識と基礎および応用技術を付与し，自動車のあらゆる故障原因探究，車両検査，さらに各種性能試験およびデータ処理能力など，技術革新に対応できる知識と技術を習得し，



建築デザイン科

2級自動車整備士技能検定合格者の育成。

・造形デザイン科：定員20名

（木材加工系木工科）

北海道の優れた天然資源である木材を基本素材として，基礎的な造形感覚を養い，価値観の多様化の進む生活環境を的確にとらえた製品デザインから，企業レベルの木製品開発と製作を自らの体験とプロセスを通じ体得し，産業界に携わるスペシャリストの育成。

・電子機械科：定員20名

（メカトロニクス系メカトロニクス科）

機械，電子，電気，情報の基礎と，その複合技術であるメカトロニクスの視点から物づくりの根幹を学び，さらには，ロボット，自動化機械機器の開発，設計，製造，メンテナンスに対応できる技術者の育成。



旭川学院全景

### 3.2 旭川高等技術専門学院

#### (1) 学院の特徴

旭川学院は、北海道のほぼ中央に位置する人口36万人の北海道第2位の都市旭川市南東部に位置し、研究・教育施設に囲まれた閑静な地域と広大な敷地に囲まれ、緑豊かな環境に立地しています。

平成8年度からは、地域経済界の要望もあり、科目を再編し、6科目にするとともに全科目を高卒者を対象にした2年制普通課程に移行し、北・北海道地域の拠点学院として地域産業に根ざした技能者の育成を進めています。

2年制普通課程の移行後の修了生の就職先をみると、その78%が地元旭川市または上川支庁管内の企業に就職しており、主に、旭川市を中心にその周辺町で「旭川家具」としての産地を形成している家具・装備品製造業をはじめ、自動車整備・建築塗装など地域産業を支える企業への就職が目立っています。このことから、訓練科目が地元の産業と直結しており、学院の担う役割も一層重要になってきています。

#### (2) 設置訓練科目

・電子工学科：定員20名

（電気・電子系コンピュータ制御科）

電子技術を初歩から、主体には電気・電子の回路知識（トランジスタ回路・IC回路）を学習。

学科においては電気理論の基礎から始めて、電子系一般知識を学び、実技では基礎実験や計測器の使用法から入り、アナログ・デジタル回路技術



電子工学科

へと進み、コンピュータのソフトやマイコン制御の専門技術まで一貫した技術者を育成。

・自動車整備科：定員20名

（第2種自動車系自動車整備科）～(略)～

・電子印刷科：定員20名

（印刷・製本系製版科）

製版、印刷および製本に必要な基礎的なものをはじめ、製版に関する画像処理、画像制作に必要なデザインなど、印刷の流れを理解し、各専門コースにおいてより高度な訓練を実施し、即戦力となる技術者を育成。

・建築技術科：定員20名

（建築施工系木造建築科）

木造建築物における建築一般、設計製図、施工管理、建築施工に必要な知識および技能を学び、北方型住宅に関する知識と技術の両面からアプローチし、機能性だけでなく個性あふれる芸術性

を探究した，夢をカタチにする創造力を持ち合わせた建築技術者を育成。

- ・造形デザイン科：定員20名  
（木材加工系木工科）～(略)～
- ・色彩デザイン科：定員20名  
（塗装系木工塗装科）

工業製品塗装（木工・金属），建築物塗装の各種コーティング技術と色彩と造形にかかわる基礎デザイン，さらにコンピュータによるCGや，専門的な色彩計画等の技術，技能の付与など，個性豊かな演出と製品保護ができる色彩の技術者を育成。

### 3.3 函館高等技術専門学院

#### (1) 学院の特徴

函館学院は，北海道と本州を結ぶ交通の要衝として，古くから北海道における経済・文化の中心地に位置する人口29万人の函館市北東部にあり，開設以来，地域産業のニーズに合わせ，数次の科目変更，カリキュラムの改正等を行ってきましたが，平成10年，校舎改築とともに科目の見直し，新時代にマッチした設備整備を行い，全科目高卒2年制の5科目に生まれ変わりました。

科目制定に当たっては，変わり身の早い経済動向を見ながら，業界と学生に効率的な人材育成をどのように行うかを念頭に，産業界と学生の動向を調査し，地域ニーズにより科目を設置したところです。

学院の指導方針として，しっかりとした人間形成は，技能の習熟によってできあがるということをも身につけさせることとし，職業能力開発の根幹である技能の習得に重点を置くこととしています。このことが職業人としての規律ある生活と社会への適応力として産業界に貢献し，自分自身への自立へと結びついていくことであると期待しています。

2年制訓練へ移行したことで，知識教育へと考えがちですが，学生自身が技能の繰り返しからレベルアップを図ることにより，「モノづくり」に対して「なぜ」の心が芽生え，知識や技能を理解したときこそ，訓練効果が上がるという職業訓練の特徴を生かし，授業を展開しています。

#### (2) 設置訓練科目

- ・機械技術科：定員20名  
（機械系精密加工科）  
物づくりを基本とし機械加工における基礎および応用技術，機械設計製図，コンピュータおよびエレクトロニクス基礎知識を学び，これからの高度化に対応できる実践的技術者の育成。
- ・電子工学科：定員20名  
（電気・電子系コンピュータ制御科）～(略)～
- ・自動車整備科：定員20名  
（第2種自動車系自動車整備科）～(略)～
- ・建築技術科：定員20名  
（建築施工系木造建築科）～(略)～
- ・総合ビジネス科：定員20名  
（流通ビジネス系ショップマネジメント科）

一般的な事務およびOA機器の操作を主とする訓練を基礎にOA事務，OA機器等による販売事務，卸，小売業務に必要な仕入れ企画，マーケティング，さらに接遇訓練を取り入れ，観光業界でも対応できる，即戦力となる人材の育成。

## 4. おわりに

普通課程2年制訓練の修了生の特徴としては，1年制訓練に比べより多くの専門的な関連知識を持ち，技能・技術に対する習熟度も高く，最新の技術に対応できることなどがあげられ，修了後は即戦力として企業の第一線で活躍しています。

また，職業観が身につけているため，企業での定着率も高いものがあり，受入企業から好評を得ています。

2年制訓練の実施に当たっては，1年制訓練とのすみ分け，到達目標の違いを明確にするとともに，地域産業の動向に配慮した企業が求める人材の育成に向けて，訓練内容の充実強化に取り組んでいるところです。